

区分	主な意見
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者層のイメージを明確にする</li> <li>・機能を詰め込み過ぎない、特徴や説得力のある役割が必要 青葉山周辺の他の施設との連携、役割分担(歴史に関する展示の独自性を検討)</li> <li>青葉山公園の課題からの視点、既存施設の魅力を向上させる視点</li> </ul>
施設の内容	<p>【歴史・文化財】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台や仙台の歴史の概略がわかるとよい</li> <li>・片倉屋敷跡遺構をどのように公開するか、工夫が必要である。</li> <li>・上屋敷庭園遺構の石材の有効活用</li> <li>・藩政時代だけではなく、他の時代の歴史にも目を向けるとよい</li> <li>・地理的要素という視点から仙台城築城についてわかるとよい</li> </ul> <p>【観光】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンボルとなる花など四季折々の自然を感じられる空間(観光客数の平準化)</li> <li>・ユニークベニューなど、仙台ならではの特征があるおもてなしの空間</li> <li>・仙台観光、まち歩きの出発点となるように</li> </ul>
ゾーニングと施設整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大橋からの見え方、追廻地区全体など広い視野からのゾーニング</li> <li>・建物の位置を広瀬川に近づけるとよりよい(広瀬川を感じる)</li> <li>・デザインのプロセスが重要(デザイナーの選定、創造性を発揮してもらう工夫)</li> <li>・広瀬川、護岸石垣など今あるものを主役にした整備</li> <li>・ゆったりとしたシンプルなゾーニング</li> </ul>
事業者と市民の参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携と地元事業者の参画</li> <li>・ボランティアが積極的に関わり、ユーザーであり、サービス提供者でもあるとよい</li> <li>・市民活動団体の活躍により、サービス提供の幅が広がる</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園センターの機能にふさわしい名称が必要</li> <li>・断面図により立体的な活動についての把握が必要</li> <li>・買い物もできるとよい</li> <li>・地元産木材で製作した椅子とテーブルがあると、開催するイベントの幅が広がる</li> <li>・市民の日常利用の視点(朝と夜の利用、開放及び閉鎖する場所)</li> </ul>